

かべ新聞

第144号

2021年
7月12日

JR東海労働組合
新幹線地方本部
東京車両所分会

第15回分会定期大会開催!!

メインスローガン

JR東海労結成30年！これまでの闘いの成果をしっかりと確認し
未来を切り拓くため今を職場から全力で闘おう！

7月11日、品川区中小企業センターにおいて第15回分会定期大会を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止に細心の注意を払っての開催でした。

佐藤副委員長の司会で大会が開会されました。議長には、斉藤さんを選出して議事が進行されました。



板倉分会長挨拶は、「①JR東海労結成30年。車両所分会の歴史は、闘いの連続であった。闘いを通じて団結を強化してきた。②診断書強要中労委は3月31日の審問の内容からして勝利命令は間違いない。全組合員で闘った成果だ。③職場問題では、社員運用の仕方も含め、問題が多い。改善のために出来ることをやろう。④会社の新型コロナウイルス感染防止対策は、不十分である。問題点や要求を会社に申入れていく。⑤JR東海労組の分裂も発生しているが、JR総連の旗の下で頑張ろう。

⑥オリンピック後には、衆議院議員選挙が行われるが、菅内閣、自・公政権にNo！の意思表示をしよう。⑦「コロナ禍」で組合員が一堂に会する機会も少ない現実があるが、連携を密にして活動して行こう。」との挨拶がありました。

来賓として、本部・本橋書記長、地本・土川副委員長の挨拶を受けました。

質疑では組合員から、「出向先でも問題が多々ある。7月より運輸所で54歳原則出向が再開されたが、連帯して闘おう。」「会社のコロナウイルス感染拡大防止の取り組みが不十分である。特に修繕車両所の点呼は、「密」で問題である。」「ウイルスワクチンの職域接種もいつから始まるのかの情報もない。出向者は、対象外となっているが、問題である。同じJR社員なのだから接種の対象とすべきである。」などの発言が出されました。

未来のために「今」を全力で闘おう！

山口書記長の総括答弁では「JR東海労結成30年。旧東一両分会と旧東二両分会が合併して現在の東京車両所分会がある。運動の進め方でも違いがあったが、話し合い進んできた。スローガンに掲げたように未来のために「今」を闘おう。」「出向先の諸問題についても分会一地本で連携して解決に向け奮闘していく。」「新たな地本・分会の執行体制も含め論議していく。」と答弁を行いました。

スローガン（案）、予算（案）、運動方針（案）を満場一致で承認後、大会宣言を採択し、板倉分会長の団結ガンバローで大会を終了しました。

- ・委員長：板倉 晋（仕業） ・書記長：山口 了（SEK）
- ・副委員長：長浜 保（構内操縦）、佐藤 敏（構内操縦）

＜新執行委員＞



最先頭で奮闘します。よろしくお願ひします！

森谷さん、秋田さん長い間お疲れ様でした。



大会終了後、4月末で専任社員契約が満了した森谷孝一さんと6月末で専任社員契約が満了した秋田齊さんの激励会を開催しました。分会長から、分会からの記念品と寄せ書きが手渡されました。長い間ご苦労様でした！（秋田さんは、急用のため参加できませんでした。）

小林昇さん！専任社員となりましたが出向先でも頑張れ！

また、5月より専任社員（3月、株式会社シムックス出向）となられた、小林昇さんに本部・斉藤執行委員よりJR東海労本部からの感謝状と記念品が贈呈されました。



※従来は、分会主催で盛大に「勇退激励会」「専任社員激励会」として開催していましたが、コロナ禍での対応とさせていただきます。